
現実なんてそんなもの

無問題

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

現実なんてそんなもの

【Nコード】

N7701P

【作者名】

無問題

【あらすじ】

魔術を教える王道魔学院富士宮。

そこへテンプレ通り王道らしき転校生がやってくる。

転校生により荒れた学院内でチート生徒会長が非王道を進む。

一話

この世には王道と呼ばれるお約束な設定が幾つかある。

本来「王道」とは「お決まりの設定、展開」という意味でなく、「儒教を理想とした政道」もしくは「安易な方法」といった意味なのだが、今は置いておこう。

兎も角、今、俺の身近にも、一つそんな環境がある。

金のあるボンボンの息子共が集う、全寮制男子校富士宮魔学院。幼等部から始まり、小、中、高、大と一貫性で、その上中等部からは入寮しなければならぬ正に王道学院だ。

名門と名高い富士宮のブランド名、一般家庭では決して払いきれない学費。

授業料補佐の奨学金制度、学費、生活費等全額免除の特待生制度もあるにはあるが、学力レベルの高いこの魔学院でそれを受け、尚且つ維持するのは難しい。

その為集まるのは一流企業の息子ばかり。

彼らの誘拐等の可能性を恐れ、他者が侵入しにくい森の奥、山の中に建てられ、人避けの結界まで張られている富士宮。

帰宅しようにも最低2、3時間かかる為、自宅に帰る頃には夕食の時間。

近所の子供と接する機会が少なく、魔学院で接するのは男だけ。幼少の頃から続くそれは、同性愛者を多く生んだ。

小等部高学年になるとその傾向が現れはじめ、中等部、高等部と進む程にそれはエスカレートしていく。

見目の麗しさを中心に、魔術、頭脳、運動能力、家柄、性格等に優

れた者は他生徒により優遇され、祭り上げられた。

親衛隊なる信者集団が発生し、信仰対象である男や、親衛隊隊長、副隊長の手腕にもよるが、放置され、過激派となった親衛隊は一般生徒の脅威となる。

過激派親衛隊は己の信仰対象に眼鏡に叶わぬ輩が近付けば、例え肩がぶつかったただけとしても、制裁という名の虐めを始める。隊にもよるが、警告から始まるそれは、時が経つ程にエスカレートしていき、最後には集団暴行、集団強姦にまで至り、強制自主退学させることまでである。

権力により揉み消されたが、過去に自殺者が出ている程惨いものだ。生徒、そして教師までも、この特殊な風潮を当然のものとして甘受し、暮らしている。

この風潮がつくられたものだとも知らずに。

富士宮魔学院という名の通り、ここは生徒に魔術と呼ばれるファンタジーを教える学院だ。

魔術は人智を越えた力。

その力と力が交配され、更なる力が生まれることを恐れた国。彼らは様々な種の魔術学校を各地に建てることで、魔力持ちを自然に集め、男子校、女子校に振り分けた。

そこで同性愛を少しずつ刷り込み、魔力持ちの管理を謀った。

力の使い方を教わり、代わりに国に管理される。

いくら男子校とはいえ、同性愛者、両性愛者の数が異常に多い王道学院。

裏を返せば王道など所詮こんなものだ。

転校生、転校生と騒ぐ生徒会役員を前に、俺こと生徒会会長、玖遠寺紫暮は、あからさまな黒い剛毛鬘、黒縁瓶底眼鏡の写真に視線を落とした。

なんとも言えん。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7701p/>

現実なんてそんなもの

2010年12月31日20時58分発行